

事業所名	パステール(児童発達支援)		支援プログラム		作成日	2026年	4月	6日				
法人(事業所)理念	私たちは、子どもたちの可能性を信じる大人であり続けます。子どもたちがやりたいことをやれるように、家族一人ひとりの喜びのために、組織、個人として日々感謝し、問いと向き合い、学びと実践を重ねながら、より良い未来への選択をし続けていきます。											
支援方針	子どもの安心安全を土台とし、神経系・関係性・行動支援の3つのレイヤーから統合的にアプローチします。「未来への支援」と「イマここの支援」の両輪を軸に、一人ひとりの内発を大切にしながら、その子がやりたいことをやれるための支援を行なっていきます。											
営業時間	平日	8	時	30	分	～	17	時	30	分	送迎実施の有無	あり なし
	土曜日	8	時	30	分	～	15	時	30	分		
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	来所時のバイタル・体調・けがの確認を起点に、排泄・手洗い・身だしなみ・着替えなどの生活習慣をスモールステップで丁寧に支援します。食事面では偏食や食べ方にも配慮し、見えやすく・わかりやすい環境構造化を通じて、子どもが安心して過ごせる場づくりを行います。また保護者からの睡眠状況の聴取も行い、生活全体を把握した上で支援につなげていきます。										
	運動・感覚	体性感覚→視覚→前庭覚の順序性を意識した感覚入力アプローチを基本とし、冷却・触圧・バイブレーションプレートを起点に感覚系の調整を行います。また眼球運動の特性をアセスメントし、その結果に応じて介入内容を個別に変化させます。運動活動を通じた感覚統合を促しながら、楽しさが出る支援内容と環境設定を行います。										
	認知・行動	行動がうまくいった背景を丁寧に観察・分析し、成功体験が積み重ねる環境設定を行います。一人ひとりの認知特性と見通しを持てる活動の組み立てを大切にしながら、その子に合った理解・判断・行動の力を育てていきます。										
	言語コミュニケーション	本人の意思が周囲に伝わることを最優先に置き、言語・サイン・絵カードなど一人ひとりに合った手段を選択・活用します。言語での適切な表現・やりとりの力をさらに広げる支援を行います。日常場面での自発的なコミュニケーションの機会を積み重ねながら、表現する力と伝わる体験を育てていきます。										
	人間関係社会性	安心できる関係を土台に、職員・友達・地域・社会とのつながりを段階的に広げていきます。遊ぶ・学ぶ・休むなど自分の状態に合わせた選択ができる力を育てながら、自分の意思で開き・離れる経験を積み重ねていきます。その積み重ねが社会の中で自分らしく生きていく力につながると考えます。										
家族支援	保護者と同じ方向を向いた並走を基本に、発達状況や特性の理解に向けた相談援助、子育ての困り事への対応、レスパイト・預かりニーズへの支援、子育てや障がいに関する情報提供を行います。日常の仕組みの中に支援が自然と届く構造を整えながら、親子関係・生活基盤の安定と充実を通じて家族全体の喜びを支えていきます。				移行支援		入学・就労などライフステージの切り替えを見据えた将来への準備を行います。保育所・学校など事業所以外の育ちの場との連携を密にし、どの場面でも子どもの力が発揮できるよう支援の充実を図ります。地域の子どもたちとつながりながら日常生活が送れるよう、インクルージョンの視点を大切に地域社会への参加を推進します。					
地域支援・地域連携	関係機関との相談援助・環境調整を行いながら、地域の連携会議に積極的に参加し情報収集と共有を図ります。図書館・公園などの公共施設や地域資源を積極的に活用し、地域との交流・イベントへの参加を通じて子どもたちの社会参加の機会を広げていきます。				職員の質の向上		施設内の勉強会・目標設定と見直し・自己検証に加え、施設外の研修・勉強会への参加を推進します。虐待防止研修・事業所内支援会議・BCP研修など定期的な研修を実施し、職員の心技体の向上と自己研鑽を支援します。日々の挨拶・観察・気づきを大切に、感動報告や報告連絡相談を徹底することで、チームとして支援の質を高めていきます。					
主な行事等	・茶話会、情報提供											